



ダイコンについている^{ほそ}細い^ねひげのようなものは根なの

ダイコンの^た食べる^{ぶぶん}部分は^ね根と^{ようじく}幼軸、^{ほそ}細い^ねのも根

^た食べている^{だいこん}大根の^{した}下^{ぶぶん}3分の^{ほんとう}2が、^ね本当の^{ぶぶん}根にあたる^{ぶぶん}部分です。この^{ぶぶん}部分には、よく^み見ると^{ちい}小さな^ねひげ根^ねが出て^{うえ}いますが、^{ぶぶん}これも^{めば}根^{ぶぶん}です。上^ね3分の^{ようじく}1は、^{おお}根とも^{くび}つかない^{ぶぶん}部分で^{めば}芽生え^{くび}の^{ころ}ころの^{くき}くき(これを^{ようじく}幼軸^{おお}といいます)が^{おお}大き^{くび}くなった^{くび}ものです。ふ^{くび}つう、^{くび}首^{くび}とい^{くび}わ^{くび}れ^{くび}て^{くび}い^{くび}る^{くび}部分^{くび}です。

^{ちよくんけい}直根形^{ねけい}と^{ねけい}ひげ根形

^{しよくぶつ}植物の^ね根の^{かたち}形には、^{ちちゆうふか}ま^{ちよくんけい}っ^{ほそ}す^ねぐ^ねに^ね地^ね中^ね深^ねく^ねの^ねび^ねる^ね直^ね根^ね形^ねの^ねも^ねの^ねと、^{ほそ}細^ねい^ねひ^ねげ^ね根^ねが^ねた^ねば^ねにな^ねっ^ねて^ね生^ねえ^ねる、^{ねけい}ひ^ねげ^ね根^ね形^ねの^ねも^ねの^ねが^ねあ^ねり^ねま^ねす。直^{ちよくんけい}根^ね形^ねの^ね根^{しよくん}は、^ね主^ね根^ねと^ねい^ねわ^ねれ^ねる^ね1^ね本^ねの^ね太^ねい^ね根^ねが^ねま^ねっ^ねす^ねぐ^ねに^ねの^ねび^ねま^ねす。主^{しよくん}根^ねから^ね出^ねる^ね細^{ほそ}い^ね根^ねは、^ね側^{そくこん}根^ねと^ねよ^ねば^ねれ^ねて^ねい^ねま^ねす。ダイ^ねコン、^ねゴ^ねボ^ねウ、^ねタン^ねポ^ねポ、^ねニン^ねジン^ねな^ねど^ねは、^{ちよくんけい}この^ね直^ね根^ね形^ねの^ね根^ねです。

ダイ^{そくこん}コン^ねの^ね側^ね根^ねは、^ねば^ねら^ねば^ねら^ねに^ね出^ねる^ねの^ねで^ねは^ねな^ねく、^{しよくん}主^ね根^ねの^ね左^ね右^ねに^ね並^ねん^ねで^ね生^ねえ^ねて^ねい^ねま^ねす。イ^ねネ、^{ねけい}タ^ねマ^ねネ^ねギ、^{ねけい}ユ^ねリ^ねな^ねど^ねは、^{ねけい}ひ^ねげ^ね根^ね形^ねです。(監^ね修^ね・中^ね山^ね 周^ね平^ね)

